



鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和8年7月1日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 高田加寿子

紫陽花の花が色づき始め、雨に濡れる緑が一層美しく感じられる季節となりました。保護者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今月も、各学年でさまざまな活動が行われましたので、ご報告いたします。

普通科の児童生徒は体調も安定し、元気に学習を進めています。高等部では、教育実習生、介護等体験の学生等、担任以外の先生との関りも増えています。

生活産業科の生徒たちも、元気に様々な学習を進めています。1年生は、オリエンテーション実習を行いました。これからたくさん行うことになる実習について知るとともに、コミュニケーションの大切さを学ぶ機会となりました。今後の学びへの意欲につながる充実した実習となりました。

2年生は、個別の実習が本格的に始まっており、様々な職種での活動が増えてきています。その実習の中で、自身の適性を探っていくこととなります。

3年生は、進路に向けた個別相談がありました。生徒一人ひとりが将来を真剣に考え、よりよい進路に向けて具体的な準備を進めています。

進路学習においては、保護者様のご都合をつけていただくことなど、ご無理を申し上げることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学習の様子



オープンキャンパス

6月15日(月)より令和9年度入学に向けた中学3年生対象オープンキャンパスが始まりました。生活産業科2、3年生が中心となり、受付、案内を担い、専門教科では各担当生徒が、体験や紹介をしてくれました。笑顔であいさつをし、おもてなしの気持ちをもって、日頃の学習の成果を十分に発揮できていました。鳴滝の良さを堂々と表現している姿は素晴らしいものでした。



気温、湿度が高い日が続いています。今年も夏の猛暑が予想されます。水分は多めに、着替えやタオルなどもご用意ください。また、登下校中は帽子などもご用意していただき熱中症対策をしっかりとこなってください。

